

Sapporo Breweries Choral Music Concert Series 2008

GARDEN PLACE CHOIR 第33回定期演奏会

J.S.バッハ マタイ受難曲

J.S.BACH

MATTHÄUS PASSION

BWV244

福音史家：畑 儀文

イエス：宇野 徹哉

ソプラノ：佐竹 由美

アルト：加納 悦子

バス：小野 和彦

児童合唱：東京少年少女合唱隊

合唱指揮：長谷川 久恵

合唱：ガーデンプレイスクワイヤ

合唱指揮：中島 良史

管弦楽：ガーデンプレイスバッハゾリステン

指揮：三澤 洋史

2008 6 / 2 8 (土) 15:00開演

東京オペラシティコンサートホール：タケミツメモリアル

チケット(全席指定)発売中

S席：¥5,000 A席：¥4,000

ガーデンプレイスクワイヤ | URL <http://gardenplacechoir.sakura.ne.jp/>
TEL 080-5069-5351

e+ (イープラス) | URL <http://eplus.jp/>

東京オペラシティチケットセンター | TEL 03-5353-9999

主催：ガーデンプレイスクワイヤ 協賛：サッポロビール株式会社

ガーデンプレイスクワイヤはサッポロビール株式会社による文化支援対象団体です。

出演者紹介



■指揮：三澤 洋史

群馬県出身。国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。1984年ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。パッハに深く傾倒しており、2000年暮れから2001年初めにかけての浜松パッハ研究会ドイツ演奏旅行では、エアフルト、ハレでのロ短調ミサ曲成功に加え、ライブチヒ聖トマス教会の新年音楽礼拝を聖トマス教会聖歌隊に代わり務めた。2006年、自らのパッハ演奏の拠点となり、さらには国内外のパッハによるネットワークのセンターとなるべく、東京パロック・スコラズを設立。そのプロジェクトは「21世紀のパッハ」と呼ばれ、ユニークな活動を展開している。1999年より2003年までパイロイト音楽祭にて祝祭合唱団の指導スタッフの一員として従事。この経験を生かし、ワーグナーのスペシャリストとして講演や放送の分野でも活躍。2001年9月からは新国立劇場合唱団合唱指揮者に就任。新国立劇場の全公演に合唱指揮者として関わる。2003年9月からの一年間は音楽ヘッド・コーチも兼任。2002年1月、新国立劇場公演「ファンパーディング」作曲「ヘンゼルとグレーテル」を指揮。2005年7月及び2007年7月、「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 蝶々夫人」の指揮を担当。2008年11月では尼崎アルカイク・ホールでの公演が予定されている。2004年に「新国立劇場 子供のためのオペラ劇場 ジークフリートの冒険」の編曲、指揮を担当。大人気の演目となる。2005年夏、再演。さらにウィーン国立歌劇場がこの作品を取り上げ、2007年11月にウィーン国立歌劇場子供オペラ公演として初日を迎えて以来、各新聞で絶賛され、現在も上演中。新国立劇場では2008年7月にウィーン・バージョンでの上演予定。2006年夏には、新作「スペース・トゥーランドット」を編曲、指揮。新聞、雑誌、テレビでも大きく取り上げられ、絶賛を博す。2007年7月に再演した。2005年5月1日、サントリーホールにおける東京交響楽団特別演奏会「三澤洋史のドイツ・レクイエム」を指揮し、高い評価を得る。そのライブ録音はコロムビアからCD化された。合唱指揮者としては、新国立劇場2005年度シーズン開幕の、ワーグナー作曲、楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の合唱音楽作りが高く評価され、ドイツ・バイエルン州のメルクル紙の批評によって、「これと同じレベルは、ただパイロイト祝祭劇場でしか求められない。」と書かれた。またドイツの音楽雑誌Opernwelt（オペラの世界）においても絶賛された。声楽を伴うあらゆる様式の音楽に精通。言葉と音楽、ドラマと音楽の接点を追求している。作品にミュージカル「おこころ」「愛はてしなく」「ナディーン」などがある。日本顕彰会より社会貢献者賞受賞、上毛新聞社より上毛音楽賞を受賞。東京藝術大学、愛知県立芸術大学、京都教育大学非常勤講師や、名古屋芸術大学客員教授、及び滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専任指揮者などを経て、現在新国立劇場合唱団指揮者。洗足学園音楽大学客員教授。



■福音史家：畑 儀文



■イエス：宇野徹哉



■ソプラノ：佐竹由美



■アルト：加納悦子



■バス：小野和彦

■児童合唱：東京少年少女合唱隊（合唱指揮：長谷川久恵）

1951年故ポーロ・アヌイ神父と初代指揮者長谷川新一のもとに「ルネサンスの楽曲を日本の子供たちにも」と誕生。1955年にプエリ・カントレス（世界児童合唱連盟）に日本支部として加盟。現在、正指揮者に長谷川芽子、常任指揮者に長谷川久恵が就任。グレゴリオ聖歌から現代作品まで幅広いレパートリーを持つ他、松平頼暁氏、一柳慧氏、細川俊夫氏の日本の作曲家への委嘱、編曲依頼も数多い。都内の小・中学校に通う6才から14才の少年少女たちの基礎クラスから演奏活動の中心となる上級クラス、高校生・大学生によるグループまで5段階に分かれて練習している。定期公演は年2回。その他、国内外のオーケストラ、オペラ劇場との共演等。1998年C.A.バド指揮ベルリン・フィルとマラー「交響曲第3番」で共演。又同年、J.フルネ指揮によるフォーレ「レクイエム」をCD録音。1964年以来29回の海外演奏旅行を行い、2000年にはルツェルン国際音楽祭における細川俊夫作品個展演奏会に出演。2006年に創立創立55周年を迎え、美しい響きのホールを訪ねるシリーズ4公演を実施。同年、「第2回大邱国際合唱祭2006」（韓国）に招聘参加。2007年春には台北文化教育基金会主催「春の合唱祭」に招かれ、各地で交流を深めた。夏には小澤征爾指揮のオペラプロジェクトⅧビゼー「カルメン」で共演し好評を得る。又、秋にはNHK交響楽団定期公演ブッチェリ「ラ・ボエーム」、チェコフィル来日公演マラー「交響曲第3番」に出演。定期演奏会Vol.56には2002年よりシリーズとしている「降誕節に歌う Nativitas Domini IV」を東京オペラシティにて行った。

■合唱：ガーデンプレイスクワイヤ（合唱指揮：中島良史）

1996年7月、400人を超す応募者の中から選考されたメンバーにより創設。以来、中島良史氏の指導のもと、サッポロビール株式会社のメセナ活動の一環として質の高い音楽を提供できるよう研鑽を重ねている。活動の中心は、ガーデンプレイス内の恵比寿麦酒記念館における定期演奏会と12月のクリスマスコンサートであり、ルネサンスから現代まで、宗教曲を中心に幅広いレパートリーをこなしている。麦酒記念館以外でも、ウェスティンホテルなど恵比寿ガーデンプレイス周辺各所に招かれ演奏を行い、地域音楽振興の一端を担っている。そのほかカザルスホール(1999年、2007年)、紀尾井ホール(2001年)、第一生命ホール(2002、2004、2005年)、東京オペラシティコンサートホール(2003年京都パッハ合唱団招聘特別演奏会、2006年)でも演奏を行ってきた。2006年1月には札幌交響楽団第485回定期演奏会に出演し、広上淳一氏の指揮でモーツァルト「戴冠ミサ」を演奏して、マスコミ各紙にて好評を博す。

■管弦楽：ガーデンプレイスパッハゾリステン

ガーデンプレイスクワイヤとの共演を目的として、国内外で活躍するトッププロを集めて特別に編成される管弦楽団。パッハ、ヨハネ受難曲、ロ短調ミサ、マニフィカート、モーツァルトのレクイエムなど、今まで数多く共演を重ねており、その演奏は高く評価されている。



[京王新線 初台駅] 東口下車 徒歩約5分

[小田急線 参宮橋駅] 徒歩約14分

[都営大江戸線 西新宿五丁目駅] 徒歩約17分